

みどり

# 水土里ネットおきなわ



令和3年の農業農村整備の進展をめざして

## CONTENTS

・表紙	1	・理事会の開催	11
・新年のご挨拶（水土里ネットおきなわ会長）	2	・第56回通常総会の開催	11
・年頭挨拶（沖縄総合事務局長）	3	・要請活動、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同政策提案会の実施	12
・年頭のあいさつ（沖縄県知事）	4	・換地事務新規担当者研修会	12
・新年にあたって（全国水土里ネット会長）	5	・沖縄県多面的機能保全推進協議会 対象組織指導・助言活動の実施	13
・新年のご挨拶（全国水土里ネット会長会議顧問）	7	・水土里情報システムについて	14
・新年のご挨拶（全国水土里ネット会長会議顧問）	8	・第43回全国土地改良大会群馬大会予定	15
・監査の実施	10		
・監査会の開催	10		



## 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員及び農業農村整備事業関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素より農業農村整備事業の推進ならびに本会の運営につきまして、格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛生活下での挨拶となりました。この新型コロナウイルス感染拡大による県民生活への深刻な影響に対して、本県の農業農村整備事業は、それまでの課題であった自然環境や自然災害、市場遠隔性、高齢化や後継者不足の解消に加え、活動自粛によって低迷した地域の維持・活性化という新たな目標を掲げることが必要になっています。

これらの課題を解決するためには、食料生産の重要性を再認識し、地域特性を活かした産業の振興や農業生産基盤および農業集落排水整備事業の推進、多面的機能支払交付金の活用による生活環境基盤の整備が不可欠であります。

令和三年度から始まる土地改良長期計画では、「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、「多様な人が住み続けられる農村の振興」、「農業・農村の強靱化」が政策課題として計画されており、その達成に向けた新たな事業制度も拡充されています。また、現行の沖縄振興計画は、2022年に期限を迎えます。これまでの5次にわたる計画をしっかりと検証しながら、次期振興計画を作り上げていく必要があります。これら国の制度や県の計画を活用して、圃場整備・畑かん施設整備や耐候性施設を導入することで、経済活動停滞の影響下にある地域農業の収量増大、品質・価格の向上、高収益作物への転換や6次産業化の促進を達成でき、さらに農業者の所得向上や担い手の育成・確保等に繋がって、農業・農村地域に豊かな恵みをもたらすものと期待できることから、我々、水土里ネットおきなわは、皆様と連携して真摯に取り組んで参ります。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係各位のご健勝とますますのご活躍を祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

沖縄県土地改良事業団体連合会  
会長 古謝 景春



## 年頭挨拶



令和3年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

まず、水土里ネットおきなわの会員及び役職員の皆様におかれましては、日頃から沖縄県の農業農村整備事業の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、豚熱の発生に始まり、新型コロナウイルスの感染拡大と、沖縄県の農業のみならず経済社会全体にとって「試練の一年」と言うべき一年でした。新型コロナウイルスの脅威は未だ衰えておりませんが、皆様方におかれましては、引き続き、感染防止に十分留意いただくとともに、感染防止対策と両立した業務の推進に努めていただきたいと存じます。

現在、国におきましては、昨年3月に閣議決定された新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づき、農業の成長産業化を促進する「産業政策」と多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」とを車の両輪として各分野の施策を講じ、食料自給率の向上・食料安全保障の確立を図ることとしていますが、農業生産基盤の整備につきましては、①農業の成長産業化に向けた生産基盤の整備、②農業水利施設の戦略的な保全管理、③農業・農村の強靱化に向けた防災・減災対策、④土地改良区の運営基盤の強化を施策の柱として推進していくこととしております。

こうした中、沖縄総合事務局におきましては、現在、「宮古伊良部地区」及び「石垣島地区」の2地区を中心とする国営かんがい排水事業を始めとする各般の事業を推進しておりますが、特にかんがい排水事業につきましては、農業用水が安定的に確保されることにより施設園芸等の付加価値の高い農業への転換が可能となるものであり、沖縄県農業のブランド化にも資する重要な施策として取り組んでいるところです。

言うまでもなく、これらの事業の推進に際しましては、皆様方のお力添えが不可欠ですので、より一層の御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、沖縄県の農業・農村の更なる発展・飛躍とともに、水土里ネットおきなわを始め、沖縄県における農業農村整備に関わる皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

内閣府沖縄総合事務局長  
吉住 啓作



## 年頭のあいさつ

はいさい、ぐすーよーちゅーうがなびら。

水土里ネットおきなわの皆様におかれましては、心新たに健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から沖縄県の農業農村整備の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、本県の経済や社会情勢が、かつて経験したことがないほど深刻な事態となりました。貴会におかれましては、各種事業活動に多くの制約を伴う困難な状況下でありながらも、会員の行う土地改良事業への指導及び援助を通し、共同利益の増進及び農業農村整備の推進に御尽力されていることに対し、深く敬意を表します。

さて、沖縄県では、昭和47年度から始まった沖縄振興開発計画や沖縄振興計画等に基づき、農業用水源やかんがい施設、ほ場整備等の農業生産基盤整備が重点的に行われ、その結果、整備率は5割から6割程度にまで達しています。しかしながら本県は、農業用水の確保が困難な離島を多く有することや、度重なる台風・干ばつなどの自然災害の発生、農業従事者の減少・高齢化の進行、貿易の自由化の流れへの対応など、依然として克服すべき多くの課題が残されています。

沖縄県としましては、今後とも「沖縄21世紀ビジョン」に示された「希望と活力にあふれる豊かな島」の実現に向けて、地域特性に応じた新たな農業用水源やかんがい施設に加え、防風林などの施設を整備し、亜熱帯・島しょ性に適合した農業生産基盤整備を推進してまいります。また、農山漁村の多面的機能の発揮及び利活用に向け、地域の魅力ある素材の発掘や地域特性を生かしたグリーンツーリズムの推進に取り組んでまいります。

水土里ネットおきなわの皆様におかれましては、引き続き、一層の事業推進と、会員に対する技術的指導や支援体制の充実など、沖縄県の農業農村整備にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が貴会にとって実り多い躍進の年となるとともに、皆様の益々の御健勝・御活躍を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら。

沖縄県知事 玉城 デニー

## 新年にあたって



令和三年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。

また、七月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立っていただいていることについて、心から敬意を表します。

全国で三十二カ所のため池が決壊した「平成三十年七月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年六月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様の御尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和三年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、四、四四五億円を確保することができました。さらに、令和二年度の補正予算を含めると六、三〇〇億円となります。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな五ヶ年加速化対策として、十五兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。

また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年三月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様方にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、

本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

全国土地改良事業団体連合会  
会長 二階 俊博

## 新年のご挨拶



明けましておめでとうございます。沖縄県の皆様には、今年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3か年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

去年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことが出来ました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟（二階俊博会長）として「農業農村の振興を先導する土地改良」（全国事例集）の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

沖縄県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

全国水土里ネット会長会議顧問

しんどう かねひこ  
進藤 金日子





## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。沖縄県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動にご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、昨年是全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われ、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな復旧に向け私も最大限の努力をしてまいる所存です。

さて、昨年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の3カ年緊急対策に続き令和7年度までの5カ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力を賜りながら、総額6,300億円（当初4,445億円、補正：国土強靱化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円）を確保することができました。1月開会の通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいか



なければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せ生産性の高い農地や農業水利施設を沖縄の未来を担う次の世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と必要な予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、沖縄県の皆さまのご健勝とご多幸を祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げ新年の挨拶といたします。

都道府県水土里ネット会長会議顧問

宮崎 雅夫

## 監査の実施

令和2年7月29日（水）、午前10時30分より当会1階会議室にて令和元年度決算監査が実施されました。また、同年11月17日（火）には、本所および八重山支所において令和2年度中間監査が行われました。それぞれ概ね良好である旨の監査結果を頂きました。



令和元年度決算監査



令和2年度中間監査(本所)



令和2年度中間監査(八重山支所)

## 監事会の開催

令和2年度、監事会は6回開催されました。第1回は令和2年6月に持ち回りによる表決とし、7月29日には、令和元年度決算監査の前後に第2回、第3回を実施し、10月28日に第4回、11月17日に第5回（令和2年度中間監査の後）、令和3年2月3日に第6回（第3回理事会の前）がそれぞれ開催されました。



第2回監事会



第5回監事会



第6回監事会

## 理事会の開催

令和2年度は、3回開催されました。本年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、第1回（令和2年6月）、第2回（令和2年10月）第3回（令和3年2月）のすべてが、持ち回りによる開催となりました。第1回、第2回理事会では、補正予算案等が、第3回理事会では、第56回通常総会で提出する議案等が審議されすべて可決されました。

## 第56回通常総会開催

令和3年2月16日（火）午後2時より、本会4階大会議室において第56回通常総会が開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面議決を採用した会員が多くおられました。総会は、古謝景春会長の挨拶の後、土地改良功労者表彰が行われ、諸見剛氏（伊是名土地改良区事務局長）、大濱一男氏（石垣島土地改良区課長）、親川一志氏（本会事業部班長）の3名の方が表彰されました。

議案審議では、第1号議案「令和元年度（平成31年度）事業報告、一般会計、特別会計、収入支出決算及び財産目録について」を含む8つの議案が審議され、すべて可決されました。



第56回通常総会



## 要請活動、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同政策提案会の実施

毎年実施している要請活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から多数の人数が参加すること避け、中止、またはWeb開催や少人数での実施となりました。今年度は、令和2年10月に少数の理事によって沖縄県における農業・農村振興の実現を目的として実施しました。



加藤官房長官要請



河野沖縄担当大臣要請



二階全土連会長要請

## 換地事務新規担当者研修会の開催

令和2年度換地事務新規担当者研修会が9月8日（火）～9月11日（金）までの4日間の日程で、沖縄県土地改良会館4階大会議室において開催されました。県、市町村の換地事務を初めて担当する職員、土地改良区の職員、各地区の役員など約32名が受講しました。研修会内容は土地改良法、民法、換地理論、農地中間管理事業について、土地改良登記令、農振法など、換地事務を行う上で必要な講義内容となっています。研修3日目の午後には糸満市慶座地下ダム観測施設・仲座ファームポンドへの現地視察を行い、参加者は現地担当者の説明を熱心に聞き入っていました。本研修会を開催するにあたって、お世話になりました講師および研修関係者の皆様に感謝申し上げます。



研修会の様子



現地視察の様子



## 沖縄県多面的機能保全推進協議会 対象組織指導・助言活動の実施

沖縄県多面的機能保全推進協議会では、日本型直接支払交付金（多面的機能支払交付金）を実施する対象組織の活動を支援するため、令和2年度に実施された組織抽出検査や確認検査、ブロック別事業制度説明会等に出席、対象組織に対する本交付金の指導・助言を行いました。



南大東村 活動組織(11月6日)



石垣市 活動組織(11月19日)



八重瀬町 活動組織(11月27日)



大宜味村 活動組織(12月15日)



国頭村・東村 活動組織(12月16日)



竹富町 活動組織(3月15日)



## 水土里情報システムについて

水土里情報システムは、農業農村整備事業の効率的な実施や事業で造成した施設の円滑な維持管理、運用の支援、また、担い手への農地集積による生産性の向上などに寄与するため、農業分野に関するさまざまな情報を収集し、データベース化、クラウド化することで、情報プラットフォームとして農業情報の可視化、共有化を行っています。

可視化では、例えば、地籍図と農地台帳をつなぎ、記載情報を畑ごとに図示することで、担い手ほ場の分布や収量の偏り、規模拡大意向地域の把握など、表では読み取れない事象が視覚的に捉えやすくなります。また、パイプラインや制水弁など水利施設位置と施設診断結果から、補修箇所抽出による予防的保全の策定を支援します。さらに、農地情報と施設情報を重ね合わせて、ほ場区画と一つの給水栓の散水区画から従量制の水利用量の配分区画の管理や給水栓メータ値の管理を支援します。

共有化は、沖縄県全域を一体として管理し、地域間、組織間での情報共有を支援します。





## 第43回全国土地改良大会群馬大会開催予定

全国土地改良大会は、「農業・農村の重要性」とそれを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールして国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、広く次世代へ引き継いでいくことを目的として開催され、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に集う式典で、第43回は、群馬県において開催予定です。

### < 開催日程 >

令和3年10月6日（水）～ 8日（金）  
6日・・・会式典及び交歓会、  
7日～8日・事業視察

### < 大会式典・交換会会場 >

群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」



大会シンボルマーク





「水土里ネットおきなわ」は、  
沖縄県土地改良事業団体連合会の愛称です。

<sup>みどり</sup>  
「水土里ネット」は、  
全国にある約4,700の土地改良区と  
47都道府県土地改良事業団体連合会、  
全国土地改良事業団体連合会の愛称です。



● ● ● 農業用水・地域用水など



● ● ● 土地・農地・土壌など



● ● ● 農村空間・農家や地域住民が一体となった  
生活空間など

「水土里」

● ● ● 豊かな自然環境、美しい景観を意味し、  
おいしい水、きれいな空間など清廉な  
イメージを表現しています。

■事務所所在

**本所**  
〒901-1112  
沖縄県島尻郡南風原町字本部453番地3  
TEL.098-888-4511 FAX.098-835-6070

ニトリ南風原店 イエローハット南風原店  
国場 与那原  
印刷団地 兼城十字路  
本所

**八重山支所**  
〒907-0004  
沖縄県石垣市字登野城1263-1  
TEL.0980-82-6070 FAX.0980-84-1089

八重山農林高校  
八重山支所  
石垣第二中学校  
石垣市中央運動公園

**宮古支所**  
〒906-0012  
沖縄県宮古島市平良字西里1440-1 (JA会館2F)  
TEL.0980-72-8697 FAX.0980-74-2111

宮古自動車学校  
宮古支所  
空港  
宮古島市立鏡原中学校



夢ある農村づくりを目指して